



小惑星回避作戦/Star
Trek 7 (1972)/ジェイ
ムズ・ブリッシュ (斎藤
伯好訳) /早川書房 (文
庫・3/31刊・¥360)

テレビシリーズ「スター・トレック」(宇宙大作戦)のノヴェライゼーション、邦訳第九作目にあたる。古代ギリシャの神、アポロに捕えられた、エンタープライズ号の物語―「誰、わが主をいたむや?」。何百年も昔に行方不明になった、小型探査船ノーマッド号が、殺戮者として再び姿を現わす「取換え子」。また、表題作「小惑星回避作戦」は―平和なヒューマノイドの棲む惑星に、ある日小惑星が接近する。衝突は時間の問題だった。しかも、住民救出のため、惑星に上陸したカーク船長は、事故で記憶を失ってしまう……。

スター・トレックは、アメリカ本国で、一九六六・六九年にわたって放映された。もう既に、十年以上前のことである。ところが、人気は一向に衰えを見せず、今秋には、とうとう劇場用新作まで公開される予定である。

実際、SFは読まないがスター・トレックは見るという、熱狂的ファンも数多いのだ。小説も、ブリッシュのノヴェライズ十二冊(テレビ映画のエピソード)のほか、番外編が十四冊、また、アラン・ディー・フォスターによるアニメ版エピソードが十冊等、根強い人気を保っている。(俊)